

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-222712(P2010-222712A)

【公開日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2009-67898(P2009-67898)

【国際特許分類】

D 0 6 M 13/463 (2006.01)

D 0 6 M 13/00 (2006.01)

C 1 1 B 9/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 M 13/463

D 0 6 M 13/00

C 1 1 B 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月7日(2011.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

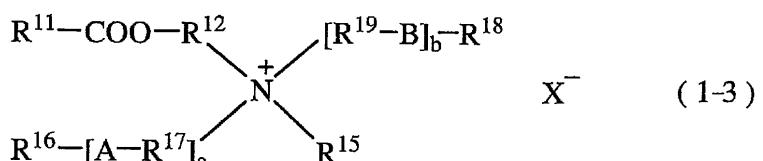
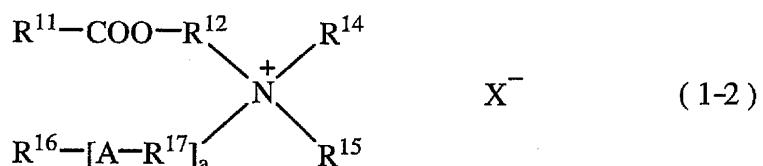
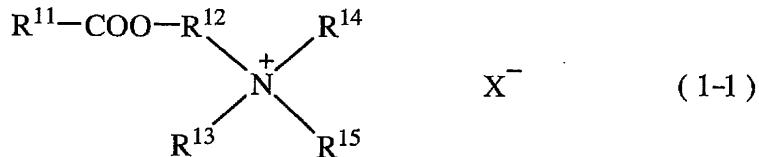
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 下記一般式(1-1)～(1-3)で表される化合物から選ばれる1種以上の化合物、(b)下記一般式(2)の化合物、(c)Log Powが3～30の香料成分を40～100質量%含有する香料組成物を含有する液体柔軟剤組成物。

【化1】



〔式中、

R<sup>11</sup>は炭素数15～20のアルキル基又は炭素数15～20のアルケニル基であり、

R<sup>12</sup>は炭素数1～6のアルキレン基であり、

$R^{13}$ は炭素数1～3のアルキル基又は炭素数1～3のヒドロキシアルキル基、  
 $R^{14}$ は炭素数1～3のアルキル基又は炭素数1～3のヒドロキシアルキル基、  
 $R^{15}$ は水素原子又は炭素数1～3のアルキル基もしくは炭素数1～3のヒドロキシアルキル基であり、

$R^{16}$ は炭素数16～20のアルキル基又は炭素数16～20のアルケニル基であり、

$R^{17}$ は炭素数1～6のアルキレン基であり、

$R^{18}$ は炭素数16～20のアルキル基又は炭素数16～20のアルケニル基であり、

$R^{19}$ は炭素数1～6のアルキレン基であり、

$R^{11}$ 、 $R^{16}$ 及び $R^{18}$ の合計モル数に対してアルケニル基が50～100モル%であり、炭素-炭素不飽和結合を2つ以上有するアルケニル基が $R^{11}$ 、 $R^{16}$ 及び $R^{18}$ の合計モル数に対して10モル%を超える50モル%以下であり、

Aは-COO-であり、Bは-OOC-であり、a及びbは1の数であり、X-は陰イオン基である。一般式(1-1)～(1-3)中の各Rのうち、同じ意味のものは同一でも異なっていてもよい。】

### 【化2】



〔式中、

$R^{21}$ は炭素数15～22のアルキル基又は炭素数15～22のアルケニル基であり、

Dは-CO NH-であり、

$R^{22}$ は炭素数1～6のアルキレン基であり、

$R^{23}$ 、 $R^{24}$ は炭素数1～3のアルキル基又は炭素数1～3のヒドロキシアルキル基であり、

$R^{25}$ は水素原子又は炭素数1～3のアルキル基もしくは炭素数1～3のヒドロキシアルキル基であり、

cは1の数であり、

X-は陰イオン基である。】

### 【請求項2】

(b) 成分の $R^{21}$ のアルケニル基含有量が全 $R^{21}$ に対して50モル%以下である、請求項1記載の液体柔軟化剤組成物。

### 【請求項3】

更に、(a)と(b)の質量比が(a)/(b)=0.5～8である請求項1又は2記載の液体柔軟剤組成物。